

数字で見るわかばの姿

【人口の構成と世帯数】

※ 数値は令和3年12月末現在のものです。

	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計
人数	96人	495人	871人	1,625人	1,093人	4,180人
構成率	2.2%	11.9%	20.9%	38.9%	26.1%	

世帯数	1,685世帯	高齢者のみの世帯数	427世帯
高齢化率(65歳以上)	26.1%	1人暮らし高齢者数	193人

※ 人口推移は各年10月1日現在のものです。
令和3年は12月末現在のものです。

【人口推移と自治会別高齢化率】

	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	総人口	高齢化率	世帯数
平成29年	124人	626人	1,014人	1,814人	885人	4,463人	19.8%	1,647
平成30年	116人	598人	975人	1,765人	936人	4,390人	21.3%	1,658
令和元年	102人	552人	939人	1,730人	985人	4,308人	22.9%	1,661
令和2年	87人	522人	887人	1,693人	1,041人	4,230人	24.6%	1,659
令和3年	96人	495人	871人	1,625人	1,093人	4,180人	26.1%	1,685

ニュータウン 1区	ニュータウン Ⅱ期	南ローズ タウン	ニュータウン 3区	ニュータウン 4区	サントウン	マイタウン
36.8%	38.1%	32.9%	32.2%	26.4%	28.0%	29.8%
すずらん	ピックタウン	ドリーム タウン	レインボー タウン	オークタウン	オークハイツ	スマイル タウン
35.5%	25.2%	15.4%	18.1%	19.7%	2.3%	0%

彦根市	25.7%
-----	-------

この計画書は、「赤い羽根共同募金」の助成金で作成しています。



わかば計画（若葉学区第2次住民福祉活動計画）

策定・編集・発行：若葉学区第2次住民福祉活動計画策定会議

2022>>>2026

わかちあい かがやける ばしょ 若葉

若葉学区



第2次住民福祉 活動計画

このまちに暮らす住民同士、楽しいことも、時にはしんどいことも、互いに共感し、分かち合える地域でありたい。

また、一人一人の存在を認め合い、誰もが自分らしく輝けるまちでありたい。

そんな思いを「わかちあい かがやける ばしょ 若葉」の合言葉に込め、笑顔でつながるふるさとを目指します。



わ・か・ほの“未来”づくり

わたしたちの“わかば”

第2次計画の作成にあたり、地域の福祉活動やまちづくりに携わる方々と一緒に学区内の課題や求められる取組について、「こんなまちになったらいいな」「こんなまちにしていきたい、していこう」と、話し合いを重ねてきました。

この計画が、これからの若葉の福祉のまちづくりを、みんな考え、取り組んでいく道しるべとなって、具体的な実践につながっていくことを願っています。

笑顔 つながる ふるさと 若葉

わかちあい かがやける しょ 若葉

まずは、最初の一步から…。「おはようございます」や「こんにちは」に、「お元気ですか」、「いつもありがとう」と、思いやりや感謝のひと言を添えるあいさつから始めましょう！

様々な地域から集まった人々によって街並みを広げてきた若葉学区は、昭和・平成・令和と年月を重ね、成熟した住宅地として新たな時代を迎えようとしています。高齢化・少子化といった課題に直面する一方、地域の学び舎である若葉小学校の卒業生世代が30代を迎え、その保護者世代が60代に差しかかるなど、小・中学校での学びを通じた地域住民のつながりが着実に広がっています。

10年後も20年後も、誰もが居心地よく、安心して住み続けられる若葉学区であるために、ご近所同士が笑顔でつながり、困ったときに支え合えるネットワークを、一步ずつ着実に築いていきましょう。

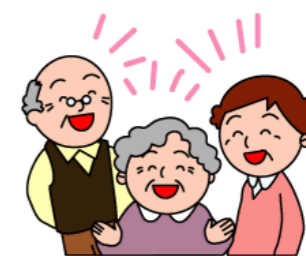
子どもたちがすくすく育つまちに

- 子どもたちの安全や生活を地域のみんで見守ろう
- 伸び伸び遊べる公園、集える場所を整えよう
- 地域学校協働本部「わかバンク」を応援しよう
(読み聞かせ、学習補助〔畑・ものづくり等〕、登下校の見守り、挨拶 等)



心も体も元気で長く住み続けられるまちに

- サロン活動等を活性化して、趣味を通じた仲間づくりを進めよう
(ふれあいサロン、趣味の会 等)
- ご近所同士「お互いさん」の心で、高齢者や子どもたちを緩やかに見守る関係を築こう



みんなに優しく安心・安全なまちに

- 災害時に備えて、ご近所との絆をつなごう
(ご近所への声かけや支援、夜回り、消防団 等)
- 日頃の声かけを心がけ、自助・共助を高めよう
(命のバトン、民生委員さんとの協力 等)



同世代・異世代がつながり合えるまちに

- 自治会や子ども会の活動に積極的に参加しよう
(総会、夏祭り、清掃、パトロール 等)
- 行事や交流の場に気軽に参加して仲間を増やそう
(グランドゴルフ、ボッチャ等の体育振興会活動 等)

